

第1回沖縄鉄軌道市町村会議(北部)

日時：平成27年5月29日(金) 14:00～16:00

場所：北部合同庁舎2階会議室

■ 出席者(敬称略)

所属	氏名	備考
名護市 企画部企画調整課 課長	金城 秀郎	
名護市 建設部都市計画課 課長	翁長 武嗣	
国頭村 企画商工観光課 課長	知花 靖	
〃 主任	當山 英雄	
大宜味村 村長	宮城 功光	代理
東村 総務財政課 主事	小沢 英文	
本部町 企画政策課 課長	安里 孝夫	
〃 班長	平良 裕章	
恩納村 企画課 課長	山城 雅人	
宜野座村 総務課 課長	新里 隆博	
宜野座村 企画課 課長	新里 清次	
金武町 企画課 課長	安富祖 昇	
今帰仁村		欠席

■ 議事

1. 開会
2. 沖縄鉄軌道市町村会議設置要綱について
3. ステップ2の検討内容について
4. 質疑応答及び意見交換
5. 閉会

《 議 事 メ モ 》

発言者	発言
名護市	<p>フィーダー交通について、現在北部圏域で実証実験を計画しているが、鉄軌道の計画との整合性はどう考えているのか。実験の状況も踏まえて、連携していただければと思う。</p> <p>⇒資料を提供して頂ければ、整合を図りながら、将来のフィーダー交通のあり方を検討したい。</p>
国頭村	<p>鉄軌道について、全ての市町村に負担が出るのか。それとも沿線市町村だけなのか。懸念材料として過疎化がさらに進んでいくのではないかと考えており、調査をお願いしたい。現在の計画では名護までとなっているが、国頭村の住民が利用する場合には、名護まで自家用車で行くと思われ、駐車場を整備してもらいたい。</p> <p>⇒市町村の負担については、白紙の状態であり、今後議論されるところと考えている。</p> <p>今後、高齢化が進んでいくため、基幹軸とフィーダーで移動環境を整えることが大きな政策課題と考えている。P&R 駐車場も議論されるところと考えている。</p>
本部町	<p>各市町村にヒアリングを行ってルートを検討すると聞いていたが、この市町村会議がヒアリングという扱いなのか。</p> <p>⇒ルートは、複数案を比較評価して検討する。</p> <p>以前はヒアリングを行う予定であったが、ステップ 1 で決定したプロセスにしたがい検討することとなった。</p>
恩納村	<p>各市町村における駅の数、位置はどうなるのか。また、フィーダー交通を十分に検討してほしい。</p> <p>⇒構想段階では、駅位置などの考え方を整理したものが計画案としてまとめられる。</p> <p>利便性を十分に考慮して、フィーダー交通のネットワークを検討していくが、便数等は利用実態に応じて決定される。まずは県民に利用して頂くための啓発活動が重要。</p>

発言者	発言
名護市	<p>今年度、地方版総合戦略の策定を予定しているが、鉄軌道との整合性を図ることができるのか。</p> <p>⇒B/C 等の算出において人口予測の予測値も活用する。鉄軌道を同総合戦略のなかに組み込めるとは考えていない。</p>
宜野座村	<p>ルートを決定する目処はいつなのか。</p> <p>⇒ステップ 4、5 で絞り込む。</p>
本部町	<p>運賃は JR、私鉄のどちらを目安としているのか。また、客観的指標というのは公表されるのか。</p> <p>⇒一般論では、運行事業者の採算により運賃は変化すると考えている。</p> <p>評価指標は、ニューズレターでの情報提供を通して意見を収集。結果は全て公開と考えている。</p>